

# 募集

## tvk(神奈川テレビ)の人気番組「猫のひたいほどワイド」で紹介された音楽好きな友の会(音友会)がボランティアさんをさがしています。

「元住吉駅」を中心に地域交流でレコード鑑賞やライブ演奏を楽しむ「音楽好きな愛好会」が活動しています。レコード鑑賞は懐かしい「アナログの音」で皆さんと一緒に会場作りをしながら楽しみ、演奏会は「楽器本来の音を聴いて欲しい」と、PAは最小限で。「元住吉ミュージック・フェスティバル」を開催。そして情報フリーペーパー「Mマガジン」を毎月発行、地域の音楽情報や読み物を記載しています。



### 募集① レコードコンサートの受付係

- 受付担当：2名(継続可能な方希望)
- 催事名：音友レコード倶楽部
- 場所：川崎市国際交流センター レセプションルーム
- 開催日時：毎月1回(土曜または日曜)
- 受付時間：12:30~14:00(コンサートは13:30~16:30)



### 募集② Mマガジンの支援スタッフ

- 自宅で「Mマガジン」原稿の校正。(継続可能な方希望)
- 方法：メールによる原稿チェック。(対面も有り)
- 他にも、取材、配布、写真撮影等のお手伝い。



### Mマガジンの表紙アーティスト

地域音楽情報誌の表紙を飾るクラシック、ジャズなどミュージシャン音楽関係者を募集しています。



### 元住吉ミュージック・フェスティバル開催準備及び実施スタッフ

開催準備 2023年4月の開催へ向けて音楽好きなボランティアを募集します。



詳しくは「音友会」のホームページからお問い合わせください。

<http://ontomo.jp>



音楽好きな友の会 <http://ontomo.jp/>

A Free Magazine that Promotes Regional Revitalization through Music  
**Mマガジン**  
2022年9月16日号  
2022年8月16日発行(毎月16日発行)  
第91号  
発行・編集：塚田親一  
編集：藤田順治 / 大場明弘  
発行：音楽好きな友の会  
川崎中原区木月2-21-32  
TEL 090-9398-2889  
2022-8-16-800 Printing RK

# M MAGAZINE

●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories

## 音友レコード倶楽部

レコードコンサート合同開催中

### Light Music

「軽音楽ファンの集い」

### Jazz Date

「ジャズファンの集い」

**9月23日(金・祝)**

13:15開場 / 13:30開演

参加費：¥1,500

川崎市国際交流センター

レセプションルーム

Photo: Yoshiro Yasuda



藤橋 万記(ふじはしまぎ)：

パーカッショニスト  
横浜生まれ。千葉育ちのパーカッショニスト。2001年に初めてキューバへ。これまでに10度キューバへ渡り、研鑽を積む。年間のライブ本数は250本を超え、至近距離でのパーカッションのライブを展開、ライブワークになっている。ラテンに限らずジャズ、ブラジリアン、シャンソンなどのサポートも多く、参加CDも多数。「歌心あるハッピーサウンド」がモットー。

## 連載36 そして音楽の旅は続く

### SWING独特なリズムは、一生のお勉強もの

### ジャズボーカリスト 星乃けい

official website  
<https://www.hoshinokei.com>

さあ、初めてのJAZZ LIVEが決まりました。2月に決まっていた4月に本番だったと思います。波々引きずり出された感じでしたが、ママさんのお気持ちが嬉しかったので1回限り、ベストを尽くそうと思いました。しかし大きな課題がありました。ジャズクラブでジャズミュージシャンとジャズ好きなお客様に囲まれて、ジャズボーカリストとして唄うということ、おまけにまだ3曲しか知らないのに締め切りがあること、もう絶望的としか言いようがない状態です。

LIVEをやるってことは、最低18曲は唄えねばなりません。3曲は覚えているから、あと15曲を1ヶ月半で仕上げなきゃも一大変よ〜!

でも若い頃から、マネージャーの取ってきてくれた仕事はできようが得意な世界にいた習性が未だにあって、即、突貫工事を開始しました。まず最初に、初めてのセッションで私の間違いを教えてくださいました。彼なら、きっと助けてくれると感じていたので事情を説明して、ジャズを教えることになりました。私は長い間、〇〇風とか〇〇な感じといった歌は唄ってききましたが、特定のジャンルを深く学んだことがありませんでした。だから、ジャズって何なんだろう、ジャズってどんな風に唄うんだろ、そもそもどんな曲があるんだろ。分からないことだらけ。一晚

ジャズっていえば東芝EMIに在籍していたときにBLUE NOTEレベルのsample盤をたくさん頂いたなあ。(全然聴いてなくて部屋のオブジェになってた)それを片っ端から聴いて選曲する、メロディを覚える、歌詞を覚える、keyを決める、譜面を書いてもらう、歌ってみる、ジャズってこういうものか教えてもらう〜岩谷さんに一からお世話になりました。この岩谷さんとの濃厚な1か月半は、私がジャズの中に入っていくための大切な大切な土台になり、その時のアドバイスは今も鮮明に生きています。友人にセッションに連れていかれたのがわずか半年前、故コミさんが強引にLIVEを決めてくれ、岩谷さんとの濃厚なジャズの学びの機会を生んで、音楽の旅は色々な景色を見せてくれました。な〜って想いに浸っていられるのは今だからこそで、その時は何度も何度もスタジオで岩谷さんに指導をして頂き、どうにか本番に間に合わせました。ただ、1か月半頑張ったところで、取り合えず18曲は唄えるようになったという程度。SWING(ジャズ

の独特な4拍子のリズム)は、一生のお勉強のように難しくても修行中です。

初ライブの18曲には何とか間に合った! ユミさんがロングドレスを着て来いと言うので初ロングドレスも買った。で、本番でのピアニスト池野成秋さんはどんなお人柄かしら?知り合ったボーカリストの人に聞いてみたら「ひえ〜!大丈夫?」とのお返事。一瞬にして血の気が引いていきました。どうしよう〜。



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「IN NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をLP、CDでリリース。オーディオファン、ジャズファンから高く評価される。

常連の参加者との共同製作です。撮影、編集はギター奏者の永瀬晋が担当。新規参加の前に、ぜひご覧ください。YouTube配信中。

**音友レコード倶楽部PR動画!**  
「音友レコード倶楽部」をわかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

**島倉 学ミュージックスクール**  
驚くほど歌い方が上達する「島倉 学メソッド」  
歌が人生を変える 音楽は決して貴方を裏切らない

**島倉 学ミュージックスクール**  
プロ志望専門ヴォイス・トレーニング  
**30分無料体験レッスン実施中!**  
【レッスンスタジオ】元住吉駅西口 徒歩5分  
島倉音楽スタジオ  
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(106号)  
【お問い合わせ】  
島倉音楽事務所 営業日：火曜〜土曜 12:00〜21:00  
代表 島倉 学 定休日：日曜・月曜  
TEL 044-567-5940 Mail: info@ms-musicchool.com  
HP: <http://www.ms-musicchool.com/>

## 川崎市国際交流センター

### 英語で学ぶイギリス音楽(中級)[予告・10月講座]

音楽を愛するイギリス人講師とともに、ポップやロックを聴きながらイギリスの暮らしを体感しましょう。

- 日程：10月5日〜2月22日(予定) 全18回
- 毎週水曜日 18:30-20:00
- 申込方法：HP申込フォーム、往復はがき
- 締切：9月5日[空席がある場合、締切後も応募可]
- ※受講料が必要です。
- その他、レベル別英語、フランス語、中国語などのクラスがあります。



●お問い合わせ  
川崎市国際交流協会  
TEL 044-435-7000  
FAX 044-435-7010  
E-mail: [kiankawasaki@kian.or.jp](mailto:kiankawasaki@kian.or.jp)  
ホームページ <https://www.kian.or.jp>  
川崎中原区木月紙園町2-2  
元住吉駅から徒歩10分

## 川崎市生涯学習プラザ

### 第116回 ランチタイム・ロビーコンサート

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる場合があります。
- 日時：2022年9月8日(木)
- 12:00開場 / 12:10開演 / 12:40終演予定
- 場所：川崎市生涯学習プラザ ●料金：無料
- 出演：青山 みなみ / ピアノ弾き語り



●お問い合わせ  
(公財)川崎市生涯学習財団  
総務室 総務係  
ロビーコンサート担当  
TEL 044-733-5811  
E-mail: [concert@kpal.or.jp](mailto:concert@kpal.or.jp)  
川崎中原区今井南町28-41

●プロフィール：  
音楽の楽しさを多くの人と分かち合いたい。そんな思いから、病院等でロビーコンサートのボランティアなどを行っています。バンド活動、プロ合唱団所属、合唱団伴奏、音楽指導などを経て現在は弾き語りを中心に活動中。

【来場の注意点】  
マスク着用、連絡先記入、検温、入場制限がございます。

## 音楽好きな友の会(音友会)

### ディスクジョッキーやってみませんか!

自分の好きなジャンルの音楽を皆さんに紹介しながら音楽談議でコンサートを盛り上げてください。音友レコード倶楽部の面々がそれぞれ得意なジャズ、映画音楽などの分野でストーリーを作り、レジメを作り、DJ形式で楽曲を皆さんに紹介しながら鑑賞しています。先日参加の方がDJに参入する事になりました。皆さんもぜひ!

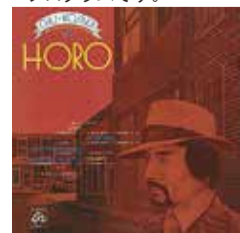
- 開催日時：9月23日(金・祝)
- 開場：13時15分 / 開演：13時30分 / 閉会：16時30分
- 開催会場 (160名収容会場を使用)
- 国際交流センター・レセプションルーム
- ※ソフトドリンク等の持ち込み可
- 参加費：1,500円 ※高校生以下¥500
- ※ 次回10月は、2日(日)を予定しています。

### 9月23(土) Light Music(軽音楽ファンの集い)を聴くプログラム

●担当：藤田 順治

9月のDJは「軽音楽ファンの集い」のプログラム。多くの方々のレコード、CDが楽しみながら聴ける「持ち寄りタイム」の時間を増やしました。※10月のDJはJazz Date(ジャズファンの集い)のプログラムです。

「持ち寄りタイム」はノンジャンルです。コレクション、秘蔵音源がありましたらぜひ聴かせてください。音友レコード倶楽部の担当者もアナログ機材で録音した40〜50年前の生演奏録音、エアーチェック、販売されていた2Tr/38cmのコレクション音源などを持参する予定です。



### J-popの金字塔アルバム、「ほうろう」を聴きます。

Mマガジン特別寄稿で紹介した二人の日本人ドラマー松本隆さんと林立夫さん。彼らと縁があり、今年、亡くなられたシンガー小坂忠さんのJ-popの金字塔アルバム「ほうろう」を追悼の意を込めて全曲聴いていきます。彼は一時期、ミュージ

シャンから牧師に転向した事もある素敵な方です。このアルバムには昔からの友人である細野晴臣さんを中心とするティン・パン・アレイのメンバーがバックを務め、彼らが一番乗っていた時代の演奏が記録されています。

●プロフィール  
★松本 隆：ドラマー  
作詞家、はっぴいえんど  
★林立夫：ドラマー  
音楽PD、キャラメル・ママ  
★小坂 忠：シンガーソングライター  
作曲家、ゴスペルシンガー  
★細野晴臣：ベーシスト  
YMO、はっぴいえんど

連載24 団塊じいのジャケ買い遍歴

サイケデリックとは何だったのか

神山 昇



▲ジャケット・デザインとイラストは、クラウス・フォアマン、グラミー賞最優秀録音・パッケージングを受賞している。マネージャーは気に入らなかつたがメンバーが強引に採用した。Revolver/The Beatles(Odeon OP-8443)

1966年、あのビートルズが突然アーティストチックなペン画のイラストをあしらったジャケット、「リボルバー」を発表しました。

このアルバムは、サイケデリックロックの始まりとしても有名で、前年の「ラバーソウル」ではマリファナの匂いがブンブンしていましたがこのアルバムはLSDによる極彩色の幾何学的渦巻き模様などといった幻覚を体験することか

ら得られる感覚を詩やメロディーで表現したと言われてます。さらにそれが顕著となった「サージェント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド」です。

それらの薬物による音楽の影響は良きにつけ悪しきにつけ計り知れません。

宗教的な由来やLSDのような薬物の由来がある幻視芸術はさらに、美術やデザインの世界にも大きな影響を与えました。我が国でも横尾忠則や田名網敬一は有名です。真似っこの私もアメリカのミルトングレーサーやピーターマックスを取ってサイケデリック風イラストを描き、ケーキ屋さんの包装紙に採用して頂いたこともあります。

さて、薬物による精神的肉体的損傷は多大であると、今は持っているだけでもお咎めを受けます。ところが以前はそんなわけで、特にジャズメンやロックスターはこぞって薬物に依存していました。多分、頭が冴え渡り、幻視経験が作詞・作曲や演奏に遺憾無く発揮されたのでしょ。

さて、サイケはジャズ方面ではどうだったのでしょうか。60年代の終わり頃には「クロスオーバー・ジャズ」や「スピ

リチュアル・ジャズ」として位置付けがあったようです。以前このコーナーでご紹介したマイルス・デイヴィスの「ピッチェス・ブリュー」もサイケでしたよ。

私はビートルズの曲をステイブ・マーカスが演奏したのを近年聞いたことがあります。結構サイケデリックな気がしました。考えてみると、これってジャズ演奏が生かすエレキに変わる時期じゃないでしょうか。

「シャーマン」のような巫術の宗教がある東洋と禁欲的宗教の西洋の出会いがサイケデリックアートによって消化したという考えもあるようです。

「リボルバー」をきちんと聴いたのは20歳の頃でした。東京23区唯一の米軍基地がある当時の六本木あたりは私にとっては星条旗がやたら目立ち、そこはもう異国のよう。外国人が多く、その辺りはベトナム戦争から逃げてきた兵隊も結構紛れにいて、私の友人と気が合い当時住んでいた私居のアパートに飛び込んできました。

そんな薬物によるアートの世界は彼らからジェスチャーと「赤尾の豆单」で教えてくれたんです。

連載10 横笛のある暮らし暮らしは続く

黒沼 千比呂



黒沼千比呂(くろぬまちはろ):フルート奏者 武蔵野音楽大学卒業。現代のフルートのみならず、ルネサンス・フルート、バロック・フルートなど、当時の楽器や奏法を積極的に取り入れる古楽演奏でも活動しています。フルートアンサンブルQuatuor acorde、コンソート・ペルテカ、コレテ・デルトラヴエルのメンバー、フルート教室ホルテ主宰。演奏会の企画、運営、広報デザインなども担当。http://www.porteflute.weebly.com

フルートは金属製になり、ペーム・システムという方式を用いた運指に変わり、圧倒的に素早く正確な演奏が出来るようになったため、華やかで技巧的な作品が増えています。個人的には以前この近現代の華やかなレパートリーがあまり好きになれず、大学時代は特にクラシック音楽を専門に勉強しているのにも関わらず、クラシック音楽が嫌いでした。しかし大学を卒業し、古楽に出会い、バロックやルネサンスと興味の幅が広がっていくと同時に、モダン・フルートや近現代の曲への興味や意識も変わっていききました。楽器が変わっていったからこそ出来るようになっていったからこその出来たようになっていったのです。特にフランスで活躍した作曲家の作品がフルート近現代レパートリーには多いのですが、独特のハーモニー(オシャレな響きがあります)や技巧的な音の並びから得られる華やかな音楽に心惹かれるようになりました。

そんな私が初めて取り組んだソロリサイタルは、なんと「オール・フレンチ・リサイタル」でした。数年前の私が知ったら、どうしてそんなことになったのか想像もつかないでしょう。フルートや音楽文化そのものが迎ってきた歴史を遡ることが、現在を見つめ直すきっかけとなったのです。未だその作業は続いていますし、終わることはないのだと思いますが...

近年はモダン、バロック、ルネサンスなどの時代のフルートでも本番で吹く機会をいただき、演奏活動をしつつ、新しいレパートリーの発掘や探究も面白がりながら取り組んでいます。とは言っても、今は便利な世の中で様々な文献や楽譜にネット上でアクセスでき(著作権フリーの物に限ります)、日本語でも様々なことを調べる事ができます。どの時代のどんなジャンルの音楽でもそうですが、当時流行した作品と後世まで名の残る作品は少し違っていたり、あ

まり日の目を見る機会がない作品でも面白い作品はたくさんあります。クラシック音楽の歴史は長く、世界中で愛されるジャンルなので作品数もそれはそれは膨大な数になります。数も増えてしまうのも仕方ないことではありますが、自分が生きているうちに王道なレパートリーだけでなく、隠れた名作にもたくさん出会えたらいいと思っています。

つい先日主宰しているお教室の発表会が終わりました。この発表会で生徒さんが演奏する曲を選ぶ時にも、王道なレパートリーはもちろん隠れた名作もたくさん探しています。今のところ見つけたものは現行出版されている作品ばかりなので、完全に埋もれていたり、隠れているわけではないかもしれませんが、クラシック音楽の作品数は膨大なので、よく演奏される作品の方がよほど少なく、演奏機会は少ないものの良

い曲はきっと本当にたくさんあるのでしよう。生徒さんたちにもご協力いただきながら、これからもたくさん探していくつもりです。

コロナ禍で活動を狭めざるを得ない音楽活動でしたが、少しずつまた活発に元気になってきました。見えないウイルス相手なので苦戦していますが、また自主的な演奏活動や、お教室でのイベントも増やして業界の盛り上げに貢献できたら嬉しいなと思いつつ、私自身がいつも楽しんでいられたら幸せだなと思っています。今が1番幸せ、と思える毎日に感謝しつつ、より楽しい

日々を夢見て音楽活動を続けていけたらと思います。

横笛のある暮らしは続く... 初めての執筆でしたが、10回の連載

にお付き合いいただきありがとうございました。私の音楽人生、改めて振り返ってみると意外と悪くない人生だと思えました。フルートのごとだけでなく、まだまだ知名度の高くないバロックやルネサンスの時代のフルートについても書かせていただきましたが、もしこれをきっかけに少しでも興味を持ってくださる方がいたら嬉しいです。ご興味ありましたらぜひ一緒に吹きましよう!沼の底でお待ちしております。最後までお付き合いいただきありがとうございます。

▲連載中に登場した私が所有する全てのフルート、ルネサンス、バロック、モダン各種横笛。

音友レコード倶楽部Report Light Music & Jazz Date 2022年7月コンサートの報告

スコット・ジャレットのAOR隠れ名盤

本日はスコット・ジャレットのアルバム「ウィズアウト・ライム・オブ・リーズン」(写真①)全曲を聴いてもらった。名前からおわかりの通り、スコットは著名なジャズ・ピアニスト、キース・ジャレットの弟である。GRPレコードで1980年に制作され、デイブ・グルーシン、ラリー・ローゼンがプロデュースを手がけている。録音が良くスコットのボーカル、アコースティック・ギターとバックのフュージョンサウンドが見事に融合しており、初夏の季節にピッタリのサウンドである。バックはデイブ・グルーシン、マーカス・ミラー、エディ・ゴメスなど当時の精鋭ジャズ・プレイヤー達が参加しており、兄のキースも2曲をアコース

ティック・ピアノで演奏している。歌声はジェームズ・テイラーのようなナチュラルなスタイルである。この中から特に印象に残ったのは「マイルズ・オブ・シー」。「ザ・イメージ・オブ・ユー」でシングルとして発表されたソフト&メロウな2曲である。また「アイ・ワズ・ア・フル」ではマーカス・ミラーのスラップ・ベースとパティ・ウィリアムスのドラムスが生み出す弾力のあるリズムが気持ちよく、陽気なハーモニーでトゥーツ・シールマンが参加している。「ネヴァー・マイ・フォル」では兄のキースがアコースティック・ピアノを伴奏し、スコットが二人の幼き頃を思い出して歌っている。



▲①Without Rhyme Or Reason/Scott Jarrett ▲②Bring The Family/John Hiatt ▲③Free/Carol Thompson ▲④The Jamaican Beat/Jazz Jamaica

爽やかな夏にはアル・クルーがお似合い

この日は夏気分最適な音楽だと思いい、アル・クルー取り上げた。クルーはアコースティック・ギターを得意とし、後にGRPレーベルを創設するデイヴ・グルーシンに見出され、1976年よりブルー・ノートから数枚のアルバムを出している。その中から数曲をピックアップした。

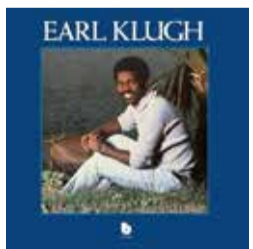
ファーストアルバム「アル・クルー」(写真①)から「ラフター・イン・ザ・レイン」(邦題:雨に微笑み)を、ビル・エヴァンスの代表曲「ワルツ・フォー・デビィ」を聴いてもらった。クルーはビル・エヴァンスが奏するピアノ曲をギターで奏する事が一つの目標であったらしい。4枚目のアルバム「マジック・イン・ユア・アイズ」からはクルーが尊敬するカントリー界のギターリスト、チェット・アト

キンスとの共演で「グッドタイム・チャリズ・ゴット・ザ・ブルース」。ラジオ放送でよくかかっていた美しいメロディーの曲である。そして最後はLAロキシーにおけるブルーノート・オールスターズ・ライブより1959年の映画「黒いオルフェ」から「サンバ・デ・オルフェ」等のメドレー曲を楽しんでいただいた。

持ち寄りタイムでは山本剛トリオの「ミスティ」(写真②)よりピアノの高音部をいかし、一音一音が丁寧なタイトル曲「ミスティ」を、鈴木勲トリオの「プロウアップ」よりファンキーなナンバーで力強いベースソロが楽しめる「ライク・イ・スイット」を聴いた。この2曲は昔、録音が良いと評判であったスリー・ブラインド・マイス・レコードより発売されていた。次はボーカリストのビリー・エクスタ

藤田 順治

インの1945年制作の「トゥゲザー」(写真③)よりジョン・コルトマンが好んで演奏していた「アイ・ワナ・テイク・アバウト・ユー」及びタイトル曲「トゥゲザー」。ビリー・エクスタインが作曲者であり、自身のオーケストラで演奏している。本日持参した方は探し求めてやっとこのアルバムが手に入り、大変うれしかったとの事であった。最後に2Tr/38cmのオープンリールで生録音した「北村英二クインテット&弘田三枝子」(写真④)よりしっとりとしたバラード「酒とバラの日々」を聴いた。ちなみに録音ミキサーは菅野邦彦(P)さんのお兄さんでワンポイント録音で有名な菅野沖彦さんでした。



▲①Earl Klugh/Earl Klugh ▲②Misty/山本剛トリオ ▲③Together/Billy Eckstine ▲④北村英二クインテット(生録音音源)

連載-Take 15 音楽ジャンルで個々のソサエティーが活動。塚田 親一

音友レコード倶楽部は「軽音楽ソサエティー」と「ジャズ・ソサエティー」でレコードコンサートを開催している。

コロナ禍で現在「軽音楽とジャズを聴くプログラム」に変更し月1回で開催しているが、本来は第1日曜日が「軽音楽の日」、第3日曜日が「ジャズの日」として月2回の開催で個々の企画、運営をしていた。

DJは各日を2人が50分の2回で担当し演奏者やバンドに付いて詳しく紹介しながら進行していた。現在は「軽音楽とジャズ」から一人ずつが担当し、短

縮版で開催している。なお軽音楽とジャズソサエティー運営は当初からコンサート参加者の藤田順治さん、大場明弘さんが担当し開催している。

また「音の家otonoya」のヴァイオリニスト田島華乃さんが企画運営で参加している「クラシック・ソサエティー」もある。現在菊地成孔とベバ・トルメント・アスカラル、横浜ソリストオーケストラの「コンサートミストレス」などで活動中であるが、元住吉では親子向けコンサート「ママのおひざで聴くヴァイオリンコンサート」やクラシックでは珍し

い投げ銭ライブ「かののかい」を開催し「片山裕子さんやゲストとのプロ演奏が気軽に聴ける」と好評だった。

これらのソサエティーが一体となったレコードコンサートや音楽祭も企画・開催したいと思う。

▲田島華乃の「かののかい」ポスター

連載72 「くじら座」日記

祭りのあと

牧野 憲人

祭りのあとの静寂は、時間の経過こそ美しいと表現する「寂び」そのものと少し傾いたような気がするし、木霊していた蝉時雨も今は記憶の片隅にある。僕は変わらず過ごしているだけに、季節はたしかに進んでいる。それはまるで、僕はただ座っているだけなのに、時速200kmでたしかに進んでいる列車のように。

感染症が残す爪痕はあまりに大きく、令和2年以降、ライブの機会は明らかに減少してしまっ。しかし、どんな出来事にも前向きな側面があるもので、この期間、僕には新しいチャンスが舞い込んできた。僕の住む焼津市のPRレディ「やいづマリ」のプロデュースである。

どの街にもそれぞれの魅力があるものだが、街に人を呼び込むためには、そ

の魅力を確実に発信することが必要だ。情報社会においては、「待ち」の姿勢は決して「勝ち」の姿勢にはならない。積極的に仕掛ける必要があると感じている。そこで、僕は「やいづマリ」を通じて観光PRソングを制作し、今回様々な方の協力を得た上で、楽曲のリリースを迎えることができた。地方の小さな街だが、滑り出しは順調だ。

歌に初挑戦する若い女性を見て、きっと僕は昔の自分を照らし合わせながら様々なことを感じるものだと思う。それが、意外に淡々と取り組めたことに驚きを感じた。こうした活動も性に合っていたのかもしれない。

ぜひお聴きいただきたい。



音楽を通じて何をすべきか?このところ、そう考える時間が多くなった。以前は「何をしたいか?」と考えていたのに、何やら責任感みたいなものも生まれてきているらしい。心は単なる時間の経過によって成長するものではなく、出来事によって成長するもののように感じる。

連載52 Course: Addicted to Guitar アルペジオ(単音Ver)使い方のコツ4 変則チューニング 永瀬 晋

お世話になっております。今月もまたギターを始めただけの方に勧めなター小ネタをソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬がお送りいたします。

前回アルペジオを使った「リフ」を紹介していましたが、今回は「リフ」でございませぬ。方法を少し変えてロック以外のジャンルではあまりポピュラーな使い方ではありませんが、通常のレギュラーチューニングではない、変則チューニングを使ったアプローチを紹介していきたいと思ひます。そもそのチューニングを変えてしまう方法なので、通常ギターでは鳴らせないような和音の組み合わせを作ることができたり、結構斬新な効果を出すことができます。そして変則チューニングですが、オープンチューニング(開放弦が和音になってい

る)、ドロップチューニング(6弦の音程を下げる)など様々な方法が存在しますが、今回は使いやすいドロップチューニングを使います。ドロップチューニングが使われやすいジャンルはやはり「ロック系」なのですが、通常のチューニングでは出ない低音を出す目的で使用さす。これによってサウンドを「ヘヴィ」にするという目的ですね。そして早速譜例でございませぬ。ここでは6弦を全音下げてDの音にする「ドロップDチューニング」を使

用します。パワーコードが指一本、縦に押さえるだけで完成するなど、結構便利なチューニングですね。音的には6弦の一番低いDの音をキープしつつ、5弦のアルペジオを動かしていくパターンで、サウンドもかなり「ヘヴィ」になりますね。こんな感じでギターはそもそのチューニングを変えることで、普段出せないサウンドが出せたりして面白いですよ。是非お試しください!というわけでまた次回!



ソウリーヴ・ミュージック・スクール Souleave Music School http://souleave-music.com/ 元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分 チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992 レッソンは8:00~22:00開始迄、詳細は要連絡

MOTTON CLUB 地域の、全国のミュージシャン、そして音楽活動に関わるあらゆる人をネットワークしたい。演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信活動を後押ししていくことが目的です。元住吉から世界に向けて配信して行きます。アーティスト・メンバー募集中!! 現在、登録アーティストメンバーが演奏動画を配信しています。演奏者の方々に「モットンクラブ」から配信希望の演奏動画を募集しています。(近郊で企画、運営可能なスタッフメンバーを募集中です)